

# 2023年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善・業務分担計画

目的:①多職種又は他部門とに連携により看護業務の効率化を図る

②タスクシフトを考え、業務改善を行い看護職と多職種双方の負担軽減を図る

③働きやすい職場環境づくりを目指し、多様な勤務形態導入や適正人員配置を行なう

④コロナウイルス感染症対策を強化し、安全な看護業務・看護サービスのあり方を検討する

	部門	令和5年度業務分担・改善計画	最終評価日(令和6年3月)	主な評価指標
他職種との連携・役割分担	看護補助者 看護クラーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者の教育研修実施(年間計画に基づく)</li> <li>研修参加率目標:病棟部門100%、</li> <li>夜間看護補助者の確保(目標50:1)⇒(目標30:1)</li> <li>地域包括病棟(看護補助充実体制加算)</li> <li>業務マニュアルの作成・改訂</li> <li>看護補助者に、高齢者や認知症に関する看護師からの指導・eラーニングの導入・院内研修の実施を行い、入院生活や身体の世話等の業務について、看護師との協働体制作りを行う</li> <li>病棟間連携業務の構築</li> </ul>	年間計画通りに実施 研修参加率:各病棟合わせて100% 夜間補助加算算定(一般・地ケア)50:1 eラーニング、移乗実技勉強会の実施 業務マニュアル見直し済 病棟間応援体制を整備した エイドアシスタント、特定技能実習生などの採用による人員確保 看護補助者の増員(2023年度10名増)	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者、クラークの人員配置</li> <li>夜勤可能な看護補助者の確保</li> <li>補助者、クラーク会議の開催</li> <li>業務改善への提案</li> <li>処遇の見直し、提案</li> <li>委託業務見直し</li> </ul>
	検査科	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師の事務作業の業務量削減</li> <li>入退院時カルテ整理や医事算定漏れのチェック</li> <li>物品、材料等の定数見直し</li> <li>電話、ナースコール、面会者等の対応</li> <li>看護師による説明・指導等の業務移譲(タスクシフト)</li> </ul>	検査入院オリエンテーションをクラークに委譲(外来) 病棟クラーク全病棟配置、欠勤時の応援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム整備、フローの周知</li> <li>待ち時間調査と対策</li> </ul>
	検査科	<ul style="list-style-type: none"> <li>採血待ち時間の短縮の応援体制の構築</li> <li>患者確認のためのシステム構築(採血、輸血)</li> <li>検査フローの確立のマニュアル作成を行っていく</li> </ul>	採血室への応援体制(看護部・病棟より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム整備、フローの周知</li> <li>待ち時間調査と対策</li> </ul>
	栄養科	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者①必要栄養量の算出、病院食の制限内容の提案②経腸栄養剤の種類と栄養量の提案③食事摂取量に合わせて栄養補助食品等の提案④NST回診による提案内容の報告と、それに合わせたプラン作成・提案⑤栄養指導が必要な患者の抽出、指導依頼</li> <li>外来&gt;栄養指導依頼後、継続指導の実施</li> </ul>	入院患者全員対象に栄養管理評価の実施 回リハ病棟では専任配置、栄養評価をリハ総合実施計画書へ記入し情報提供されている。 病棟によっては1/w食事ラウンドに参加、摂食評価や食事形態の情報共有をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス参加状況</li> <li>入院前支援フロー</li> <li>栄養指導件数</li> <li>NSTラウンド</li> </ul>
	臨床工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器のトラブル対応及び安全使用のための研修開催</li> <li>医療機器の勉強会実施(看護部と協働実施)</li> </ul>	貸し出し機器をバーコード(QRコード)読み取り、貸借をシステム化し効率UPとした	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器トラブル状況</li> <li>インシデント報告</li> <li>勉強会開催件数</li> </ul>
	医事課	<ul style="list-style-type: none"> <li>収支報告の継続</li> <li>新規加算取得への取り組み</li> <li>加算取得状況の関係部署への報告・改善提案</li> </ul>	ベッド状況(稼働・利用率)の報告 加算関係の情報共有、収支報告 認知症ケア加算算定モレ対策の強化を看護部委員会や病棟クラークと協働して行った	<ul style="list-style-type: none"> <li>加算取得データ</li> <li>勉強会開催件数</li> <li>看護必要度Ⅱの3ヶ月推移</li> </ul>
	診療情報管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護記録監査の実施と改善</li> <li>書類の記載漏れチェック</li> <li>記録監査等について報告継続</li> </ul>	看護記録記載不備の報告、監査、見直し対策に協働し取り組んだ 書類の記載漏れチェック、師長会での報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>監査結果</li> <li>記載漏れ、未来記録への取り組み(システム構築)</li> </ul>
	システム課	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護記録の効率化に向けてのシステム改善</li> <li>HRジョイントの導入(血糖測定・バイタル測定の自動入力)</li> <li>オンライン診療の確率</li> <li>看護関連加算のデータ抽出</li> </ul>	HRジョイントの稼働(血糖・バイタル)リプレ導入件数増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録時間による超勤削減</li> <li>情報の共有化と迅速対応</li> </ul>
	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内掲示物の管理(定期ラウンドの実施)</li> <li>患者満足度調査の実施</li> <li>患者意見のフィードバック継続実施と改善</li> <li>リネンの運搬・補充など外部対応へ介入</li> </ul>	業者にてリネン・病衣の運搬を病棟リネン庫まで納入	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準の見直し</li> <li>改善活動</li> </ul>
	資材課	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流システムによる物品請求、払い出しの効率化</li> <li>部署ごとの医療材料費、消耗品の使用状況のデーター提示</li> <li>在庫管理とコスト削減への改善活動</li> <li>SPDシステムによる業務効率化と定数管理適正化</li> </ul>	SPDシステムによる定数管理・期限切れを無くすため有効利用している	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正在庫のための定数調整</li> <li>SPDの適正化</li> </ul>
	薬剤科	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院&gt;</li> <li>処方薬の重複、相互作用、併用禁忌チェック(持参薬も含む)</li> <li>検査値からの用法用量チェック</li> <li>処方継続チェック(急性期)</li> <li>持参薬から院内処方へ変更時の処方提案</li> <li>外来・入院&gt;</li> <li>自己注射の患者指導</li> </ul>	病棟担当薬剤師の明確化により相談、指導がスムーズとなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護必要度</li> <li>薬剤に関するインシデントのデータ</li> <li>薬剤に関する勉強会実施状況</li> </ul>
	リハビリテーション科	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパスのリハ介入・連携の強化(退院支援)</li> <li>身体抑制中患者の評価実施(医師・看護師と3者評価)</li> <li>新型コロナ感染病床での入院患者リハ介入</li> <li>職員の腰痛予防取り組みにて移乗介助、腰痛予防勉強会開催</li> </ul>	多職種カンファを全病棟導入し目標退院日数の短縮、方向性の早期検討を行った コロナ患者へのリハビリ介入による廃用の予防職員へ移乗、腰痛予防勉強会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハカンファレンス開催状況</li> <li>看護必要度評価</li> </ul>
		項目	具体的計画	最終評価日(令和6年3月)
看護職員負担軽減・処遇改善	多様な勤務形態の導入	①日勤帯への短時間勤務者の配置 業務別短時間勤務者の配置の検討 日勤者休憩時間帯の勤務者確保、 ②障害者雇用の推進(業務内容の検討)	短時間勤務看護補助者の配置(派遣) 時差勤務(早番遅番)導入による休憩時間の確保 個々に応じた業務内容の調整、検討	
	妊娠、子育て中の看護職員への配慮	①育休明け面談による配置決定 ・夜勤可能を確認の上、希望曜日の配慮と夜勤時間短縮。 ②未就学については育児短時間勤務制度、子の看護休暇の無休での取得 ③早期復帰希望者への院内保育所への優先入所 ④妊娠中の看護師への業務量の配慮、連続勤務の軽減	2023年度育休明け7名(うち4名時短勤務利用) 男性職員1名育児休暇取得 育休明け職員希望者は夜勤免除 育休明け復職面談を行い配属部署を決定している	
	夜勤者の負担の軽減	①休憩、仮眠時間の確保(2時間) ②看護補助夜勤者の配置 ③看護師の夜勤回数設定 月の上限144時間以内、平均72時間以内 ④夜勤翌日の休日確保。月に一回以上の連休取得	仮眠室の確保、整備を行った(個室確保) 病床機能に応じた看護補助者の夜勤配置 夜勤専従配置による72時間以内夜勤の遵守 夜勤後の休日、勤務後11時間以上の休息の確保 週休、年休、リフ休の活用による休日、連休の確保	
	看護職員の勤務時間の把握と労基法に基づく労務管理	①師長会での看護職員の毎月の超勤時間の情報共有(超勤削減目標設定) ・超勤削減への改善活動 ・勤怠管理の徹底、始業前サービス残業廃止検討 ②看護職員時の補充 ・院内応援体制 ・定期ローテーション ・採用活動 ③夜勤帯業務負担のための基準の運用 ・管理日誌から各部署の業務量把握する仕組みを活用 ④委員会・部署会議の時間内開催推進	残業時間、在院時間、残業申請率の報告(毎月) 前残業削減に向けたマニュアルの作成、業務開始時間の調整 欠員時は応援体制、定期・臨時ローテーションの実施 定数補充に向けた採用活動の実施 夜勤帯業務負担軽減のため、早番遅番など時差勤務の導入 委員会、部署会議は勤務時間内に実施	

2022年4月

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 看護部